

教育子午線

October
2007

Kyoiku-Shigosen

●教育最前線

これからの
学校づくりを担う
学校管理職と
教育行政専門職の
養成をめざして

●研究レポート

ブログで作る「ティーチング・ポートフォリオ」

●私たちの先生

初田隆教授(体育・芸術教育学系)

●キャンパス通信

●うれしの交差点

演劇ワークショップ「TFT」

「教育は人なり」です。どのよ

うな教育改革を行おうと、教師に人を得なければ学校が良くなることはあり得ません。特に「教師バッシング(叩き)」の嵐が吹き荒れる昨今、学校の教員として勤務中の方々にも、将来教職に就こうと準備中の学生諸君にも、教員の持つ固有の意義を深く理解していただくと同時に、それによさわしい存在へと自分自身を形成していくべく、日々の努力と自省自戒をあらためてお願いしたいと思えます。

昨年12月15日に成立し、22日に公布施行された新しい教育基本法では、第9条で次のように

述べています。

①法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

②前項の教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、養成と研修の充実が図られなければならない。

60年前の昭和22年に公布施行され、日本の戦後教育の根幹となった前の教育基本法においても、第6条「学校教育」の後半部分に次のように述べられていま

教師としての「使命」の再確認を

した。

法律に定める学校の教員は、全体の奉仕者であって、自己の使命を自覚し、その職責の遂行に努めなければならない。このためには、教員の身分は、尊重され、その待遇の適正が、期せられなければならない。

「全体の奉仕者」という文言が「文部省対日教組」という過去の不毛な対立の中で政治的に悪用されたという理由(この文言自体は政治的中立の遵守を含め重要な意味を持つ)で削除された以外、新旧の教育基本法における記述は同趣旨のものです。キーワード的な部分は「使命を自覚

し」「職責の遂行に努める」であり、この2点に付随するものとして「身分の尊重」と「待遇の適正」が強調されているのです。

「使命の自覚」こそ、教師としての資質の根底にあるべきものでしょう。現在のような「教師バッシング」の時期にこそ、関係者のすべてがよくよく味わってみるべき点ではないでしょうか。



学長 梶田 徹一



学校管理職・
教育行政職特別研修

5月

10日～6月23日

◎学校管理職・教育行政職特別
研修1期(全10回)

24日～7月7日

◎学校管理職・教育行政職特別
研修2期(全10回)

6月

2日～11月24日

◎兵庫教育大学単独主催の研修
講座(全24講座)

20日

◎三木市との「連携協力協定」調
印式

23日～7月7日

◎公開講座「ベーターヴェンの『運
命』を振る!」(全3回)

7月

7日

◎附属幼稚園「ふよこカーニバル」

7日～28日

◎公開講座「暮らしの中の有害化
学物質を知ろう」(全3回)

20日

◎附属幼稚園、小学校、中学校第
1学期終業式

22日

◎オープンキャンパス

22日～24日

◎附属小学校6年生臨海合宿

30日～8月1日

◎公開講座「簡単ロボット製作で
学ぶコンピュータの仕組みと制御」
(全3回)



公開講座「簡単ロボット製作で学
ぶコンピュータの仕組みと制御」

8月

3日～6日

◎公開講座「絵画制作」(全4回)

8日

◎加東市夏まつり(外国人留学生



が参加)

16日～9月30日

◎兵庫教育大学免許法認定公開
講座(全7講座)

18日～19日

◎大学院学校教育研究科(修士
課程)前期選抜試験

22日～24日

◎10年経験者研修「生徒指導研
修」(兵庫県教委との連携研修)

22日～25日

◎第45回近畿地区国立大学体育大会

9月

1日～29日

◎ひょうごオープンカレッジ「東播
磨の風土を歩く」(全5回)

1日～10月20日

◎公開講座「楽しくてうまくなるテ
ニス教室」II期(全7回)

3日

◎附属幼稚園、小学校、中学校第
2学期始業式



附属小学校第2学期始業式

3日～4日

◎附属小学校4年生自然学校

6日～7日

◎附属幼稚園「わくわくキャンプ」

15日

◎附属中学校体育祭

15日～10月27日

◎公開講座「ピアノを弾こう!」(全5回)

【目次】

Contents

04	教育最前線 これからの学校づくりを担う 学校管理職と教育行政専門職の養成をめざして
08	研究レポート ブログで作る「ティーチング・ポートフォリオ」 永田智子(自然・生活教育学系准教授)
09	教育時事一問一答 教員の著書紹介
10	私たちの先生 初田隆教授(体育・芸術教育学系)
11	卒業生からの手紙
12	キャンパス通信
14	うれしの交差点 学校に行きにくい若者が役者に 自主公演は盛況のうちに閉幕 演劇ワークショップTFT
16	兵庫教育大学からのお知らせ

October, 2007

教育子午線
Kyoiku-Shigosen

◎TEXT



学校指導職専攻長
加治 佐哲也
(基礎教育学系教授)



同専攻担当教員
廣岡 徹
(基礎教育学系教授)

これからの

学校づくりを担う

学校管理職と

教育行政専門職の

養成をめざして



複雑化かつ多様化する教育課題の解決を図るため、学校は教育行政の理念や施策の在り方を十分に理解した上で学校経営を推進することが必要です。
今年度からスタートした「学校指導職専攻」では、高度な知識と理解力を持った学校経営専門職(校長や副校長、教頭などをめざす現職教員)と教育行政専門職(教育委員会の指導主事や管理主事をめざす教育行政職員)の養成に取り組んでいます。



現代の学校経営には
教育行政や地域との
連携が不可欠

学校教育に対する社会の期待は大きく、学校は自らの判断で保護者や地域社会の期待、要求に応えながら、自律的な学校経営を進めなければなりません。そのためにも、校長は教育目標を明確にし、その達成に向けて適切かつ効果的な組織運営をすることが求められます。
また、学校は教員一人一人の資質能力を基本単位として動い

ていますが、今日的な教育課題の解決と教育目標を実現するためには組織としての力を生かすことが大切です。もちろん、学校だけで教育課題を解決できるわけではありません。保護者や地域社会の学校経営への参画、そして教育行政との連携が不可欠といえるでしょう。

学校経営の総合的な
力量を培う
カリキュラム

学校指導職専攻では学校経営



シャドーイングでは校長に1週間密着し、指導を受けます

複数の教員が協議によって授業を進めます



専門職に必要な高度な経営実践力、すなわち深い教育的見識に支えられた組織経営力の育成をめざしています。その背景には、従来の経験に頼る経営手法や年功序列型の管理職への登用では現代の教育課題に対応できないという状況があります。

「新たな管理職養成」を掲げる学校指導職専攻には、全国の教育委員会から派遣された現職の教員や指導主事をはじめ、多彩な経歴の院生が集まっています。授業は研究、発表、協議を主体とした演習が中心で、複数の大学教員、実務家教員と一体となつてつくり上げていきます。カリキュラムは学校経営の総合的な力量を培うため、4つの分野と実習から成ります【表】。

院生はさまざまな学校の経営の実際を調査し検証するフィールドワークと、2カ月にわたる

インターンシップによって、学校経営の職務の遂行や課題解決に必要な実践的スキルを身に付けます。とりわけ、インターンシップ中には、メンターの校長に一週間密着する「シャドーイング」も設定。管理職の職務を目の当たりにすることで、多くの示唆を得られます。

校長や教育委員会関係者らに「学校改善プラン」を発表

院生は2年間の学びを「学校改善プラン」としてまとめ、前身のスクールリーダーコース時代から、毎年2月にメンターの校長や教育委員会関係者に発表しています。

今年12人が発表。出席者から「どれも具体的かつ実践的なプランで、すぐにでも取り入れられる」と高評価を得ました。その後、ある県では学校改善プランが管理職研修の教材として活用されました。

今年11月、兵庫教育大学に教

職大学院の設置認可が下りれば、来春、学校指導職専攻は教育実践高度化専攻「学校経営コース」とへと発展します。これからの時代の新しい管理職の養成に一つのエポックを築くべく、一層の充実を図っていきます。

※メンターとは、実習校の指導教員。インターンシップでは実習校の校長がメンターを務め、インターン(院生)を日常的に支援し、その成長を促します。古代ギリシャの詩人、ホメロスの「オデュッセイア」に登場する老賢人「メントル」に由来し、信頼できる成熟した人物の意味があります。

【表】学校指導職専攻の授業科目
〈専門科目〉

分野	科目名
教育行財政・法規に関する分野	▶教育行財政の制度と運用
	▶教育施策の立案と評価
	▶教育法規の理論と実務演習
学校組織開発に関する分野	▶学校組織マネジメントと学校評価
	▶教職員職能開発と研修プログラムの開発
学校経営実践に関する分野	▶開かれた学校づくりの事例と実践演習
	▶カリキュラムの開発と学校の特色づくり
	▶学校危機管理の理論と事例演習
フィールドワーク	▶学校改善のための教育調査法
	▶学校改善プラン・教育行政改善プランの開発

〈実習科目〉

科目名
▶インターンシップ(8週間)



グループ演習で研究の成果を発表

学校指導職専攻の授業の特色

◎演習を中心に展開

授業の基本は学校経営実践力の養成にあります。授業は調査、発表、協議、具体事例に基づく演習を中心に構成。所要所で理念や理論、制度についての講義をしています。発表や協議では必然的にプレゼンテーション能力が要求され、院生はパワーポイントなどを駆使して工夫を凝らした発表や資料提示に努めます。1年次の前期を終えるころにはプレゼンテーション能力が飛躍的に高まっています。

学校改善プラン発表会



1年次の前期を終えるころにはプレゼンテーション能力が飛躍的に高まっています。

◎外部講師は多彩な顔ぶれ

一年を通して多くの外部講師を招いており、その顔ぶれは優れた経営手腕を発揮している学校長、教育施策を企画する教育行政の担

当者、教職員職能開発の方法を研究する国立教育研究所の研究者などバラエティーに富んでいます。昨年1月に行った宮崎県五ヶ瀬町の教育長の講義は実に示唆に富んだ内容で、院生たちと他府県の評価制度と比較しながら議論を交わしました。外部講師の授業ではその後も院生の質問や感想を講師に届け、その応答をフィードバックするというかたちでさらに理解を深めています。

◎フィールドワークは多岐に

1年次の「優れた教育実践事例」の調査では、全国の学校から事例を探し出し、授業での協議と指導を経て、調査校を決定。院生はその学校を訪問します。訪問校で調査したことを授業で発表し、協議します。時には訪問校の校長を招いて質疑する場合もあります。これまでに一般の小・中・高校のほか、保育所や老人施設を併設する複合型コミュニティ・スクールである京都市立御池中学校、普通科単位制を導入して飛躍した大阪府立槻の木高校、全日制や通信制など多様な学習形態を取っているクラーク記念国際高校などを訪問しています。

また、兵庫県教育委員会の会議を傍聴し、教育委員会関係者と教育委員の構成や質疑の内容について協議したり、東京ディズニーランドに向いて顧客ニーズへの対応や経営のノウハウなどを学んだりしました。

◎複数指導と授業の公開

すべての専門科目で担当教員と実務家教員ら3、4人による指導体制を敷いています。それによつて協議や指導が深まるとともに、教員同士も授業の内容や方法を検証できます。その繰り返しにより、授業の内容はさらに充実していきます。ちなみに授業は常

授業は他専攻の院生や学部生からも注目されています



時公開しており、他専攻の院生や学部生などが見学しています。



た なか よう そう
田中陽三さん
 兵庫県立加古川東高校校長



昭和46年、兵庫県立高校の教諭に。県教委
 高校教育課指導主事、国際理解教育係長、
 阪神南教育事務所長などを歴任。平成18年
 に県立加古川東高校長に就任し、学校指導
 職専攻のインターンシップでメンターを務めた。

メンターを体験して — 新たな管理職養成に期待 —

インターンシップでは、インターン
 (院生)はメンター(校長)の実際の学校経
 営にふれながら、校長や教頭から直接指
 導を受けます。学校経営全般を学ぶ上で

きわめて実践的な内容で、管理職養成の
 新しい形態の一つと言えます。また、メ
 ンターはインターンの指導を通して自身
 の学校経営を検証する機会とするととも
 に、インターンの存在が教員への刺激と
 なるなど、受け入れ校にとっても意味の
 あるものとなっています。

昨年、本校の教員がスクールリーダー
 コース(学校指導職専攻の前身)に在籍し
 ていたことから、インターンシップのメ
 ンターを務めました。

インターンシップは二ヶ月にわた
 り、そのうちの一週間は校長に密着する
 「シャドローイング」が設定されています。
 これは全国でも初めての試みであり、そ
 の先導性は大いに評価するものの、その
 当事者となったことに少し戸惑いを感じ
 ました。

何と言っても、私自身の学校経営手腕
 とインターンへの指導力が問われること
 になるのですから。

インターンシップが所属校で行われる
 ことは、インターンが自校の教員として
 関われるという点で、深いレベルでの実
 習が可能でした。所属校以外であれば、
 それなりの制約があるのではないでしょ
 うか。

ただ、大学のガイダンスにある詳細な
 指導項目については、私自身の通常の職
 務もあり、対応しきれないこともありま
 す。そこで学校経営の大本は校長が、具
 体的な部分は教頭が指導することとしま
 した。もちろん、機会あるごとに、各指
 導項目についてアドバイスに努めました。

さて、シャドローイングの期間中は登校
 から下校まで生活を共にしました。電話
 や来訪者への対応、校務のヒアリングな
 ど、可能な限り同席させてその都度、簡
 単な状況説明をし、校長としての考え方、
 対応の方法などを指導しました。同時に、

私にとっても自身の学校経営を振り返る
 貴重な機会となり、いろいろな点で刺激
 的な一週間でした。

そのほかに、事務長のシャドローイング
 も行い、教育事務所への同行など、事務
 管理の実際を学んだことも大きな意義が
 あったようです。

今年2月、大
 学院での学びの
 集大成である
 「学校改善プラ
 ン」発表会に参
 加しました。ど

の改善プランも十分に検討に値するもの
 で、明日にでも取り組める提案もありま
 した。インターンシップの有効性が十分
 に検証されたように思います。

今後は、大学と受け入れ校がより密
 に連携することでインターンシップのさ
 らなる充実を図り、学校指導職の養成
 に大きな力を発揮されることを期待し
 ています。

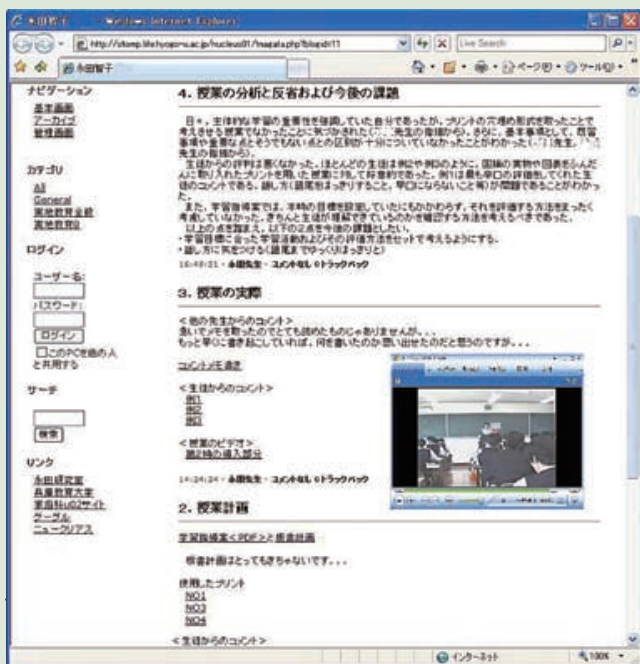




なが た とも こ
永田智子
自然・生活教育学系准教授

研究 レポート

このページでは日本学術振興会の科学研究費補助金を受けた研究を紹介いたします。科学研究費補助金とは、すべての分野の「学術研究」を段階に発展させることを目的に、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基盤研究、萌芽研究、若手研究に分かれており、若手研究は37歳以下の研究者が1人で行う研究計画が対象で、研究期間は2～4年です。



ブログを使った授業実践の報告例

「ポートフォリオ」とは、一般には「紙ばさみ」「携帯用書類入れ」を意味します。芸術・デザイン分野では「自分の作品を整理してまとめたもの」、金融・経済分野では「有価証券一覧表」「資産一覧表」などを指します。そして、教育分野では、子どもたちが学習過程で作成したさまざまな作品や自己評価した結果などをまとめたものをポートフォリオといいます。従来の学力テストでは測れ

ない力を評価する方法として活用されています。

日本では総合的な学習の時間を中心に子どもたちが作るポートフォリオが一般的ですが、アメリカでは教師もポートフォリオを作るのが当たり前になってきています。教師が自分の教育活動の過程や成果、自己評価した結果などをまとめたものを「ティーチング・ポートフォリオ」といい、教員免許の取得や免許更新の際に提出することを義務付けている大学や州は少なくありません。ペーパーテストや短時間の授業観察では測ることのできない教師の総合的な力を評価する方法として活用されているのです。

「評価」機能を持つティーチング・ポートフォリオですが、私は「学習」機能に注目しています。教師は自分の教育活動をまとめ、振り返ることで、教育の効果や課題に気づきやすくなります。ティーチング・ポートフォリオを作ることで、教師は教えることについて自ら学ぶことが

ブログで作る「ティーチング・ポートフォリオ」

(平成18・19年度科学研究費補助金・若手研究に採択)



アメリカの教育実習生が作成したバインダー型ポートフォリオ

できるのです。また、自分だけで振り返るよりも、他者と対話しながら作る方が良いといわれています。視野が広がり、独りよがりでない分析が可能になるからです。ティーチング・ポートフォリオのコミュニティも学習機能にとっては重要です。ティーチング・ポートフォリオは何でも構いません。最初は紙に書いてバインダーにとじる方法が作りやすいかもしれませんが、紙で作ると次第に膨大な量となり、持ち運びや保存が困難になります。また、多くの人に見て

もらうことも難しくなります。そこで私は、持ち運びが楽あるいは不要、大容量になった場合でも場所をとらない、動画も音声も一つにまとめられる、共有が容易など、さまざまな点で優れているデジタル形式のティーチング・ポートフォリオ作りを薦めています。

コンピュータースキルのある人はウェブページを作成、更新する要領で作るとよいでしょう。しかし、コンピューターに不安のある人にはとても高いハードルとなってしまう。コンピューターが苦手だからティーチング・ポートフォリオを作れない、では本末転倒です。そこで「ブログ」の登場です。ブログはHTMLなど難しいことを知らなくてもブラウザから直接データを発信、更新できるシステムです。ブログならワープロ入力くらいしかできない人でも、比較的容易にウェブページを作成、更新できます。またコメントやトラッキング機能で読者とコミュニケーションできます。

ブログを使ってティーチング・ポートフォリオを作ることが、教員やこれから教員になろうという人たちにとってどんな効果や課題があるのが私の研究テーマです。



近年、学校には保護者から理不尽なクレームが寄せられることが少なくありません。教員はどのような態度で対応すればいいのでしょうか。



確かに、教育現場に寄せられる「理不尽なクレーム」は増加の傾向にあります。大阪大学の小野田正利教授は、クレームを「イチャモン」として「当事者の努力では解決不可能で、学校の責任能力も超えている理不尽な内容の無理難題要求」と捉えています。

保護者が理不尽なクレームを突きつける背景にはいくつかの原因が考えられます。それらを踏まえて、学校側は次のような手順で対応を試みてはいかがでしょうか。

- ①学校（校長、担任教員、部活動顧問、専科教員など）は、保護者に「本音」を十分語らせ、その内容を読み取る。
- ②保護者が育ってきた環境や保護者の願い

などを十分に語らせる。

- ③最終的には保護者と学校との正しい関係を築くことをめざす。

最近では核家族、単家族、単親家庭が増え、保護者は子育てについての悩みを打ち明ける機会に恵まれていません。また、保護者の高学歴化が進んだことで、学校に対する要求が多くなり、保護者のストレスが徐々に蓄積される傾向にあります。

学校はまず、無理難題な要求に辛抱強く耳を傾けることが大切です。コミュニケーションを重ねるうちに、双方が本音で語り合えるようになり、やがて信頼関係が芽生えてくるでしょう。



おお つじ やす ひこ
大辻裕彦
教育実践コラボレーションセンター長、
客員教授

教員の 著書紹介

Books



視覚障害児・者の理解と支援

（北大路書房・平成19年刊）
著者：芝田裕一（臨床・健康教育学系教授）

現在、視覚障害は必ずしも社会に正しく理解されているとはいえない。さらに、社会は視覚障害児・者に対してどのような支援が必要なのかという認識も不十分なのが現状である。本書はこれらを踏まえ、視覚障害教育・リハビリテーション・福祉などの充実と社会啓発をめざして、盲学校（視覚特別支援学校）、リハビリテーション施設などの専門家から一般の方々までを対象に、視覚障害児・者に対する適正な理解、心理的ケアの在り方、歩行やコミュニケーションなどの指導、手引きによる歩行などの援助の内容・方法、疑似障害体験などについて、総論的かつ基礎的に解説したものである。

※教員の著書は附属図書館で閲覧できます。詳しくは学術情報課☎0795・44・2062へ問い合わせください。



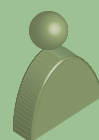
“国民的アイデンティティ”をめぐると論点・争点と授業づくり

（明治図書・平成18年刊）
編著者：原田智仁（社会・言語教育学系教授、学校教育研究センター長）

本書は小・中学校の社会科の教材づくり、授業づくりに国民的アイデンティティの視点から問題提起を行っている。理論編では、①国民的アイデンティティとは何か、社会科教育ではどのような論点・争点があるのか②韓国や米国ではこの問題がどのように議論され、教育課程に反映されているのか③社会科教育において個と共同性、市民と国民、ナショナリズムとグローバリズムの関係性はどうかを探究する。

実践編では、①オリンピックと国旗②地図学習と北方領土③日本史と琉球・沖縄④近現代史と原爆投下など、国民的アイデンティティにかかわる扱いにくい単元を取り上げ、具体的な教材開発の事例を紹介している。

学生の気持ちにくんだ 的確な指導が魅力です



私たちの先生

初田隆 教授
体育・芸術教育学系



初めてゼミに出席した時、緊張して自分が思っていることの半分も話せず、落ち込んだことを思い出しま

す。しかし、今では「次のゼミにはこれと、あれをやつていこう」と待ち遠しく感じるようになりました。それは、

初田ゼミの魅力に、いつの間にかするすると引き込まれたからだと思っています。

一番の魅力は初田先生の指導方法です。先生の学生の気持ちに沿った的確な指導によって、学生はやるべきことが明確になり、「これをやろう、あれもやろう」という意欲が自然に高められます。

学生の気持ちに沿うということは簡単そうに見えて、非常に難しいことです。初田先生は学生に直接指示を与えるというよりも、私たちと一緒に悩んだり考えた



学生一人一人に的確なアドバイスを送る初田先生



りしながら、学生に課題の発見を導き、探究させるというスタイルを取っています。

初田ゼミでは、子どもにとって先生とはどういう存在であるべきなのかを常に意識させられます。私たちは教育者としてどうあるべきなのかを考えながら研究に励みたいと思います。

初田隆 はつだ・たかし

兵庫県出身。平成3年神戸大学大学院修了。7年、兵庫教育大学実技教育研究指導センター講師に就任。18年度から大学院学校教育研究科教授に。最近の著書は「自己表現のために基礎基本を育てる絵画の授業」「基礎基本を育てる図工科ワークシート集」(ともに明治図書)、論文は「棒人間の研究」「ぬり絵の研究」(ともに「美術教育学」掲載)など。行動美術協会会員。

つだ ゆかこ 津田由加子さん

大学院修士課程芸術系コース2年

先生から学生たちへ



「子どもはみんな天才だ」とは岡本太郎の言葉。児童画コンクールの審査ではこの言葉を連発していたとのこと。しかし、本当に子どもはみんな天才なのでしょうか。

確かに子どもの絵には、奇想天外な面白さが充溢しており、いくら見ても飽きません。しかし、それは子どもが意図した面白さではなく、そのようにしか描けなかった、しかも真剣に描いたら結果としてそのようなものになってしまった、というもの。大人が勝手に芸術性を見ているだけとも言えそうです。子どもの美術を考えていく上では、岡本太郎のように「子どもはみんな天才だ」と感動する「心」と、一方で冷静に絵の意味を分析する「眼」の双方を大切にしたいと思います。

卒業生からの
手紙

日本語とともに日本の文化や習慣も教えたい

「先生おはようございます!」「今日は天気がいいですね!」
韓国の生徒たちとの元気なあいさつから私の一日が始まります。皆さんは外国人の先生という、話しかける自信がなく、声をかけられなかった、そんな思い出がありませんか。この生徒たちは違います。とにかく話したい。遠くからでも大声で呼び止めます。大邱外国語高校は各学年が英語科4クラス、日本語科1クラス、中国語科1クラスに分かれており、外国語習得の環境が充実しています。私は日本語科の全学年と英語科2年生で「日本語会話」を担当し、授業は日本語で進めています。

今年3月の新学期から着任し、はや半年が過ぎました。当初は授業中に何度も「先生は何を言っているのだろう」とぼかんとする生徒たちを見ました。それからは分かりやすい言葉、聞き取りやすい速度、丁寧な話し方を心がけるようになりました。

私は生きた日本語を教えることを大切にしています。言葉の背景にはその国の文化、風土、習慣などさまざまな要素が隠れています。日本語をこうした視点で考えると、日本は相手を思いやる気持ち、相手を配慮するということをとても大切にしている国だと感じます。海外で働き、生活することには障害や不安も少なくありません。しかし、生徒たちの日本語を学ぼうとする意欲、日本語でコミュニケーションが取れた時の明るい笑顔から元気をもらって、日々はつらつと過ごしています。



やな もと だい ち
柳本大地さん
大邱外国語高校講師



神戸市出身。平成14年、学校教育学部生活・健康系コースに入学。17年3月から1年間、短期交換留学生として韓国・大邱教育大学校で学ぶ。今春、学校教育学部を卒業後、韓国・大邱外国語高校の日本語講師に着任。

3年生の授業で七夕の飾り付けをしました。短冊の願い事は「志望校合格」



やま した ひろし
山下裕さん

兵庫教育大学大学院同窓会会長
兵庫教育大学非常勤講師

広島県出身。昭和61年、大学院修士課程芸術系コース(音楽)を修了。広島県教育委員会の指導主事などを経て、広島県内の小学校長を11年間務める。今春、兵庫教育大学非常勤講師と大学院同窓会の会長に就任。



今年6月、大学院同窓会の前会長、吉田廣さんの後を受けて会長に就任しました。教育改革の波の中、不易の側面を大切に、新しいことに積極的に挑戦していきたいと考えています。

同窓会の目的は会員相互の親睦を図ることと、学校教育に関する諸問題について意見を交わすことにあります。毎年、総会や研究会を大学や関係県で開催し、その内容は会報を通して全国の同窓生たちに発信しています。

会員の年齢層は幅広く、すでに退職して地域活動などに取り組んでいる方もいれば、幼稚園、小・中・高校、大学、教育行政の教職員としてその職責を果たしている方もいます。現職の方たちには、これからの日本を背負う子どもに対して、確かな学力の向上や豊かな心の育成、心身ともに健康な体づくり(「知・徳・体」の基礎・基本の徹底)を大切にする教育実践の継続に期待しています。

兵庫教育大学は来年10月で創立30周年を迎えます。大学ではさまざまな記念事業が計画されています。同窓生の一人一人が、自分を育てていただいた大学に恩返しができる時期でもあると思います。たとえば教育振興基金への募金など、自分にできる協力を積極的にお願います。

創立30周年に向けて母校に恩返しを

今年7月、広島で開かれた同窓会総会であいさつ



スポット・ライト



きたがわ かんや
北川冠也さん

学校教育学部自然系コース1年

姫路市出身。平成19年、学校教育学部自然系コースに入学。日本オセロ連盟4段。14年、15年に全日本オセロ選手権中学生の部を連覇、16年には兵庫県名人戦シリーズ優勝、全日本オセロ選手権大会無差別の部でベスト16に入った。

持ち前の 粘り強さを武器に 将来の夢は 世界王者

「まだまだ未熟ですが、夢は世界チャンピオンになることです。これからも精進を重ね、持ち味である粘りのオセロを極めていきたいと思っています」

北川冠也さんは中学時代、全日本オセロ選手権中学生の部で連覇を果たし、高校1年の時には同選手権の無差別の部でベスト16入り。現在はインターネットのオンラインゲームで世界各国の強豪と対戦するなど、日々、国際舞台で通用する実戦感覚を磨いています。

4歳からオセロを始め、小学4年生で姫路オセロクラブ主催の大会に出場。自分よりも強い相手がいることを思い知りましたが、敗戦の悔しさから

オセロへの情熱はさらに高まりました。今ままで最も印象に残っている大会であり、自信をさらに深める機会になったのが、中学3年生の時にデイフェンディングチャンピオンとして臨んだ全日本オセロ選手権中学生の部です。2回戦の総当り戦では、初戦で前年の決勝で負かした相手にもやの敗北。いきなり窮地に立たされましたが、ここから粘り強さを発揮し、残り試合をすべて大差で勝ち、決勝へ。



棋譜を使っでの練習。実戦でのあらゆる戦法を想定し、勝負勘を磨きます

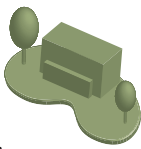
「決勝では相手が緊張しているのが分かりました。終始、自分のペースで進められました」と連覇を達成しました。トップクラスの打ち手は7手先の

展開が読めるといわれ、少しでも気を緩めると一気に形勢が逆転されてしまいます。試合後はなかなか席を立てないほど心身ともに消耗するそうで、「心も体も鍛えて、追い込まれても盛り返せる勝負強さを身に付けたい」と語ります。

学業の合間を見つけては、世界チャンピオンをめざして腕を磨いています。今年7月には母校の姫路市立城西小学校でのオセロ大会に日本オセロ連盟公認指導員として参加。子どもたちにオセロのルールやマナーを教えました。自身もオセロを始めたころの初心に立ち返り、心身ともリフレッシュする良い機会になりました。



母校では一度に複数相手にする多面打ちを披露し、子どもたちを驚かせました



これに夢中!



こやもとしおり
小屋本詩織さん

学校教育学部
総合学習系コース4年

カナダ・トロントの公園で知り合った親日家の家族と



母からもらった水晶のお守り、デジカメ、地図は旅行には欠かせない3点セットです

旅先での 出会いを通して 視野を広げたい

学校に行かず必死で土産物を売るバリ島の少年。「ハンバーガーは高級だから特別な日にしか食べることができない」と言った女性の言葉が印象に残りました。サイパンでは、「日本が好きだから」と漢字の意味も知らずに腕に「宇宙」と刺青を入れた男性に出会いました。

19歳の夏、私は旅先でいろいろな人と出会い、旅行が好きになりました。旅のアルバムを開くと、その時の自分の気持ちや風景がよみがえり、まだまだ私はごく一部の世界でしか物事を見ていないと、あらためて実感します。

旅先では予期せぬ出来事や困ったこともたくさんありました。しかし、私はこれからもさまざまな土地を訪ねてみたいと思います。より多くの人と出会い、自分の世界をより広げるために。

C o n g r a t u l a t i o n s

創部2年日の快挙 加東市中学校総体で 附属中学校野球部が優勝



とてあきお
戸出彰男さん

附属中学校教諭(部活動担当)

今年7月、加東市中学校総体・軟式野球の部で、附属中学校野球部が初優勝し、東播大会への切符を手に入れました。4年前、「中学で野球がしたい」という生徒たちの熱い思いから同好会が発足し、昨年、部に昇格。創部2年目で快挙を成し遂げました。

総体では、総当りのリーグ戦で2勝1敗の社中学校と同率首位になりました。優勝決定戦は息詰まる投手戦となり、ピンチをしのいだ6回裏に待望の先制点をもぎ取り、

週6日の練習と早朝練習に耐えて初優勝を勝ち取りました



最終回の相手の攻撃をチーム全員で守りきりました。

東播大会では1回戦を突破。高らかに校歌を歌いながら、校旗を見つめる部員たちからは笑顔がこぼれました。2回戦で全国大会出場レベルの実力を持つ高砂市立鹿島中学校に惜しくも2-3で敗れましたが、附属中学校野球部の輝かしい一歩を記したといえます。

【コンクールの優秀成績者】
平成19年6月～7月開催分



2007京展
京都市主催

▶彫刻部門入選 **王明明さん**
(大学院修士課程芸術系コース<美術>2年)

第53回全関西美術展
大阪市立美術館、読売新聞大阪本社主催

▶彫刻部門入選 **土木周平さん**
(学校教育学部芸術系コース<美術>3年)



うれしの交差点

～兵庫教育大学と地域の交流ページ

ルポ

演劇ワークショップ「TFT」

平成17年9月に発足した「TFT(Teenagers' Free! Theater)」は主に学校に行きにくい児童生徒を集めた演劇のワークショップです。学内の「課外研究プロジェクト」の補助を活用し、2年連続で自主公演を成功させました。



↑公演を2日後に控えた最後の通しげいこ。役者たちは立ち位置や台本を入念に確認していました



学校に行きにくい若者が役者に自主公演は盛況のうち閉幕



➡スタッフは楽器の演奏や小道具の製作などで舞台を支えます



8月23日、神戸市中央区の青少年会館の一室で、「TFT(Teenagers' Free! Theater)」のメンバーたちが、2日後の公演に向けて練習に励んでいました。情感のこもったせりふ回しに、これまでの苦勞の成果がうかがえます。

一昨年にスタートしたTFTは、大学院修士課程に在籍していた院生が中心となり、主に学校に行きにくい児童生徒を集めた演劇のワークショップです。「人間関係に悩む子どもたちに演劇を通して表現力を身に付けてもらおう」と、不登校支援施設などの協力を得て、役者を募集。昨年8月、課外研究プロジェクトなどの補助も活動費に充て、創作劇「フリーダム号の航海」の公演を成功させました。その後、役者からも保護者からも活動の継続を願う声上がり、今年3月から新メンバーも加えて練習を始めました。

「半年の練習期間のうち最初の2カ月は言葉遊びやジェスチャーゲームを通して大きな声を出す、人の目を見て話すといったことに費やしました」と話すのは、今春から代表を務める橋田依恵さん(修士課程2年)。

役者は12歳から19歳までの男女13人。学内外から集まったボランティアスタッフは演出、脚本はもちろん、楽器の演奏、セットや小道具の製作など、それぞれが得意分野を生かして舞台をサポートします。シナリオは役者たちから自分が演じたい役を募り、それを基にスタッフで作成。今年の「虹と王子様と青い鳥とサーカスとアフリカ」は、6組の男女が一本の道を奪い合うが、最後



イベントのお知らせ

公開研究授業

—教職大学院のめざす授業とは—

兵庫教育大学では、大学院での現職教員を対象とした実践的な教育・研究の実績と、現職教員研修プログラムの開発・実施による教育委員会や学校との連携協力の実績を基に、早くから教育分野の専門職大学院「教職大学院」の設置準備を進めてきました。今年度から、教職大学院に先行して設置した学校指導専攻と教育実践高度化専攻のこれまでの実績を研究授業として公開。両専攻の授業方法を実地に紹介し、その特色と効果について検証します。研究授業の後は梶田叡一学長が講演。教員養成や研修の在り方、教員免許更新制や次期学習指導要領の内容など教育改革の動向を紹介します。

◎開催日 11月3日(土)

◎時間 10:00～16:00

◎場所 神戸市総合教育センター(JR神戸駅から徒歩約7分)

◎プログラム

9:30……………受付

10:00～11:50…公開研究授業、研究会I/共通基礎科目「学校における特別支援教育への対応と方法」、授業実践リーダーコース「教育実践課題解決研究」、小学校教員養成特別コース「教科の内容・指導法Ⅳ(体育科)」

11:50～13:00…休憩

13:00～14:50…公開研究授業、研究会Ⅱ/共通基礎科目「授業における評価の基準作成理論と学力評価法」、学校経営コース(現学校指導専攻)「学校組織マネジメントと学校評価」、心の教育実践コース「キャリア教育実践プログラムの開発」

15:00～16:00…全体会

講演会「教育改革の現段階と教師の力量形成の課題～今、教師が問われている～」

講師:梶田叡一学長

16:30～18:00…情報交換会

☎教育支援課 ☎0795-44-2348

☎0795-44-2322

aca-kokai@hyogo-u.ac.jp

第26回大学祭「嬉望祭」

今年のテーマは「和」。大学院生や学生、外国人留学生、教職員、他大学、そして地域の人たちの交流の場となることをめざし、「人と人との“和”をより一層深く広く」という願いを込めて開催します。

◎開催日 11月17日(土)、18日(日)

◎場所 兵庫教育大学

☎学生支援課 ☎0795-44-2052

☎0795-44-2049

office-gakusei-t@hyogo-u.ac.jp

Ureshino Scramble



↑保護者や不登校支援施設の関係者ら大勢の観客の前で堂々の演技を披露。現在、TFTでは月1回集まってゲームなどを楽しんでいます。メンバーからは早くも来年の公演を望む声が上がっているとか



課外研究プロジェクトのあらまし

平成14年度からスタートした事業で、大学院生(修士課程)、学部生の自主的で創造性のある優秀な課外研究に対して、その活動費の一部を支援しています。

◎基本方針

修士論文や卒業研究に直接的には関係ないが、大学の活性化につながり、次の3つのテーマのうちのどれかに関連している。

①大学と地域社会との連携の工夫改善に関するテーマ

②大学の環境の工夫改善に関するテーマ

③教員としての資質向上などの学生自らのキャリア形成に資するテーマ

◎平成19年度採用プロジェクト

「チャレンジ演劇!～心と体をほぐしてパワーUP～」/橋田依恵(修士課程2年)ほか4人

か4人

「和の伝統文化(将棋、ソロバン、書道)を活用した軽度発達障害児支援と不登校少年の回復支援/山下寛晴(修士課程1年)ほか2人

「サマースクールにおける特別支援学校教員を目指す学生トレーニング」/宮崎光明(修士課程3年)ほか9人

「Internationally Friendly HUTE」/山下祥子(修士課程1年)ほか20人

※各課外研究の詳細はウェブサイト(http://www.office.hyogo-u.ac.jp/stu/gakusei/doc/kagai/kagai_kenkkyuP.html)で紹介しています。

にはそれぞれが道の先にある目標をめざすというストーリーです。

TFTでは役者もスタッフもニックネームで呼び合います。18歳の「のりちゃん」は入団1年目。小学校の高学年から休みがちになったという彼女は今春、通信制の高校を卒業しました。「学校に行っている時はずっと肩に力が入ったような感じでとてもしんどかったです。TFTでは友達もたくさんでき、すごく居心地がいいです」と話します。橋田さんは「役者の中には練習の行き帰りの電車に苦痛を感じる子もいます。でも、仲間と一緒に練習をしたいの思いから頑張って通っているのです」。

本番を迎えた25日。会場の県立文化体育館小ホールは立ち見が出るほどの盛況ぶり。幕が開いてしばらくは硬さが見られたメンバーたちも、各自が最初のせりふを言い終えると緊張もほぐれ、その後は堂々とした立ち居振る舞いで演じ切りました。大勢の観客が見守る中、舞台上に立った経験は一人一人に大きな自信と勇氣を与えたはず。カーテンコールでわき起こった万雷の拍手は、新たな「道」へ踏み出そうとする彼らへのエールのようなものでした。

◎平成20年度学生募集
☆学校教育研究科(修士課程)

<後期選抜試験>

◎学生募集人員(40人)

▶学校教育学専攻		
教育コミュニケーションコース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
幼年教育コース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
学校心理学コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	5人
臨床心理学コース	夜間クラス	15人
▶特別支援教育学専攻		
心身障害コース		2人
特別支援教育コーディネーターコース		2人
▶教科・領域教育学専攻		
言語系コース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
社会系コース	昼間クラス	4人
	夜間クラス	若干人
自然系コース	昼間クラス	2人
	夜間クラス	若干人
芸術系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
生活・健康・総合内容系コース	昼間クラス	4人
	夜間クラス	若干人

◎出願期間 12月18日☎~25日☎(必着)
◎試験日 筆記・口述試験…20年1月12日☎
口述試験……………20年1月13日☎
◎合格者の発表 20年1月24日☎16:00
※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸サテライト(神戸市中央区)で開講します。
※言語系コースには国語分野と英語分野、自然系コースには数学分野と理科分野、芸術系コースには音楽分野と美術分野があります。
☎入試課 ☎0795・44・2067

☆教職大学院(専門職学位課程)
〔設置計画中〕

教職大学院「教育実践高度化専攻」は平成20年4月の開設を計画しており、学生募集は文部科学省の大学設置・学校法人審議会の設置認可後(11月下旬)に行う予定です。出願期間、試験日、合格者の発表は学校教育研究科(修士課程)後期選抜試験と

同日程になる予定です。

◎学生募集予定人員(100人)

▶教育実践高度化専攻		
学校経営コース		20人
授業実践リーダーコース	昼間クラス	30人
	夜間クラス	若干人
心の教育実践コース	昼間クラス	20人
	夜間クラス	若干人
小学校教員養成特別コース		30人

※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸サテライト(神戸市中央区)で開講します。

☎入試課 ☎0795・44・2067

◎大学院学校教育研究科説明会

神戸、大阪、東京で開催。大学院学校教育研究科(修士課程)の入試や教育課程、教職大学院の設置計画などの概要について説明します。個別相談の時間も設けます。

<神戸開催>

◎日時/場所
10月20日☎、11月3日☎、17日☎、12月8日☎いずれも13:30~15:00/神戸市総合教育センター

<大阪開催>

◎日時/場所
12月1日☎14:00~15:30/キャンパス・イノベーションセンター大阪地区

<東京開催>

◎日時/場所
12月1日☎13:30~15:00/キャンパス・イノベーションセンター東京地区

☎☎入試課 ☎0795・44・2067

☎0795・44・2069

☎office-nyushi-k@hyogo-u.ac.jp

◎平成20年度園児・児童・生徒募集

☆附属幼稚園

◎募集人員
3年保育(3歳児)40人
2年保育(4歳児)20人
◎出願期間 10月22日☎~26日☎
◎選考結果発表、抽選日 11月10日☎
☎附属小学校事務室 ☎0795・40・2218

☆附属小学校

◎公示日 11月1日☎
☎附属小学校事務室 ☎0795・40・2218

☆附属中学校

◎公示日 11月1日☎
☎附属中学校事務室 ☎0795・40・2224

◎附属中学校研究発表会

研究テーマ「『学び合い、高め合う授業づくり』(1年次)一人間関係を育む教科学習-」

◎内容
公開授業、講演「『学び』と『ケア』と『小さな幸せ』」
講師:佐藤雅彰さん(元静岡県富士市立岳陽中学校校長)

◎開催日 10月19日☎

◎場所 附属中学校

☎附属中学校

☎0795・40・2222 ☎0795・40・2225

http://www.school.hyogo-u.ac.jp/middle/middle.html

◎附属幼稚園研究発表会

研究テーマ「『幼児の生活を充実させる保育環境を考える』-子どもと共に育つ『親育てプログラム』の開発-」

◎内容
研究協議会、講演「幼児の生活を充実させるために」
講師:篠原孝子さん(文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官)

◎開催日 10月24日☎

◎時間 9:00~16:00

◎場所 附属幼稚園

☎附属幼稚園 ☎0795・40・2227

☎0795・40・2228

☎kinder@hyogo-u.ac.jp

http://www.school.hyogo-u.ac.jp/kinder/

◎附属小学校研究発表会

研究テーマ「『学ぶこと』と教えることの共鳴(レゾナンス)(3年次)」

◎内容
1日目…全体会、授業公開、分科会、講演
2日目…全体会、授業公開、分科会
◎開催日 20年1月31日☎、2月1日☎

◎場所 附属小学校

☎附属小学校 ☎0795・40・2216

☎0795・40・2219

☎element@hyogo-u.ac.jp

http://www.school.hyogo-u.ac.jp/element/index.html

編 集 後 記

●今号は文章を少し書かせていただきましたが、「広報誌に書く」ということの意味をあらためて考えさせられました。これまで執筆していただいた皆様方、本当にお疲れさまでした。(は)
●教育最前線では、「Vol.12」から連載形式で教育現場の課題を提起しながら、教職大学院に先行して今春、修士課程に設置した新専攻・コースの必要性について紹介してきました。「兵庫教育大学は頑張っています!」と、これからもどんどんお伝えしていきます。(に)

◎あなたの声をお聞かせください

「教育子午線」では、読者のみなさまの声を生かした誌面づくりをめざしています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方には、オリジナルステッカーを進呈します。
●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学企画課広報・社会連携事務室
☎0795・44・2334 ☎0795・44・2009 ☎office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

教育子午線
Kyoiku-Shigosen

第15号 2007年10月発行
発行/兵庫教育大学 大学広報室
http://www.hyogo-u.ac.jp
編集協力/㈱神戸新聞マーケティングセンター